



## イタリアンレッドに魅せられて コレクションギャラリーを回遊する邸宅

白亜の殿堂にひととき目を引く「赤い跳馬」  
フェラーリを心から愛するオーナー。その想いをギャラリーに実現した。  
鮮烈な赤を際立たせるためにピュアホワイトの内装とし  
瀟洒な手摺に縁取られた回廊がラグジュアリーな空間を創りだす。

10年間で収集したというオーナーのフェラーリコレクション。  
年月とともに増えてきたアイテムを1つの空間にまとめ、それら  
を生活の中で常に眺められる家が欲しいと、新居を構えることを  
決められました。家を建てるのはこれで4棟目という、家づくり  
に関しても多くのこだわりを持つオーナー。今までにはないアール  
を取り入れた住まいで、愛するコレクションに囲まれた生活を  
愉しまれています。

左/階段と上部の回廊との組み合わせで構成されたギャラリーは  
全ての空間を繋ぐコアとなり、コレクションをあらゆる角度から  
鑑賞できる。下/純和で造り込まれた空間に切られた地窓を開放  
すると愛車を眺めるビューポイントとなる。最下/閑静な住宅街  
の角地にシンボリックなボリュームを持たせながらピュアホワイト  
の曲面で覆われた外装。重厚感のある門扉がミュージアムへの  
導きとなる。

